

Books for Getting a Job in the Construction Industry

ビルドALL



企画制作：事業委員会広報研修部会



Edition 2024

一般社団法人東京建設業協会



まちこ

東京建設業協会
オリジナルキャラクター

建設業界って
どんな
ところだろう？

迷っているあなたはこっちから



自分の未来を。



これから社会に出て、どんな仕事をするのだろう?
まだはつきりとは見えない、疑問だらけの自分の未来。
視点を変えれば、それは無限の可能性があるということ。
一つひとつ疑問を解決した先に、目指すべき姿が見えてくるはずだ。

つ
く
ろ
う
、

その疑問に
答えます!

から分かる建設業

今からでも安心!

建設業に興味はあるけど、詳しいことはわからない…
そんなあなたの不安や疑問を解消するため、建設業のキホンを解説します。

そもそも建設業って何?

一口に「建設業」と言っても、幅広い分野が含まれています。大まかには、建物をつくる「建築」と、その土台となる地盤をはじめ、道路や橋梁などのインフラをつくる「土木」に分けられます。さらに詳しく言えば、設備や内外装、配管などの要素があり、それぞれの専門家が活躍しています。



あなたの疑問に
お答えします!

Q&A

今さら聞けない、聞きづらい
素朴な質問にお答えします。

社会でどう役立つて いるの?

建物づくりや街づくりを担う建設業は、私たちの暮らす社会に欠かせない存在と言えます。人々が安全・快適に過ごせる空間も、地震や台風などの災害に備えた施設も、さらには持続可能な社会も、建設業の知恵とノウハウ、そして努力によって支えられているのです。



文系出身でも 大丈夫?

やりがいのある仕事です!

そもそも 建设業って何?

建設業

知っておけば
安心!

用語集



を確保し、構造物の耐久性を保つための道具。由来は、皆さんも大好きなお菓子と形が似ているため。

棒工式

建築物の工事が無事に完了した際に、神様への報告と感謝の気持ちを表すために行う儀式のこと。参考すると厳肅な気持ちになります。

盛土

もともとの土地の上に、新たに土を盛ること。低い土地を高くしたり、平坦な地表を作ったり、様々な目的で行われます。

山留め

地盤を掘削する際に、周辺の地盤

に影響が出ないよう、鉄板や杭などを設置する工事のこと。

地盤調査

建物などを建てる前に、その土地の地盤が建物の重さに耐え、沈下しないかなど、安全に建てられるかを調べる工程のこと。

ねこ

「一輪車」や「手押し車」のこと。「ねこ車」とも呼ばれます。由来は、逆さまになると丸まった「ねこの背中」のように見えることがあります。現場で「ねこを持つてきて」と言われても、ペットショップに行く必要はありません。

ねこ

建物の構造形式の一種で、床を支える柱と、その柱を水平につなぐ梁(はり)の接合部分を頑丈にする構造です。由来はドイツ語の「Rahmen」(額縁の意味)で、麺類とは関係ありません。

【ゼネコン】

総合建設会社(ゼネラル・コンタラクター)の略称。国や官公庁、民間企業などから元請けとして土木・建築、設備の一式で発注を受け、工事全体を取りまとめます。

土木や建築などの工事が法律に則り安全・確実に、また設計図通り、スケジュール通りに行われていることを監督する仕事です。

【一級施工管理技士】

現場監督となる施工管理技士の国家資格の中でも難い資格。この資格を取得することが、一人前の証になります。

【意匠設計】

建築物のデザイン・設計のことで、依頼主や使用者の満足度を大きく左右します。図面上での設計と現



【ZEB】

「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略で、快適な室内環境を維持しながら、建物内で消費されるエネルギー収支を限りなくゼロに

的な知識とセンスが求められます。

耳にしない言葉も飛び交います。
いざ入社してから戸惑わないよう、ぜひ、覚えておきましょう。

【BIM/CIM】

「ビルディング/コンストラクション・インフォメーション・モーリング(マネジメント)」の略。3次元モデルを利用し、建設現場の効率化・高度化を図るワークフローを指します。

【ラーメン】

建物の構造形式の一種で、床を支える柱と、その柱を水平につなぐ梁(はり)の接合部分を頑丈にする構造です。由来はドイツ語の「Rahmen」(額縁の意味)で、麺類とは関係ありません。

【ドーナツ】

鉄筋コンクリート工事において、型枠と鉄筋、また鉄筋同士の間隔



キャリアパス



現場担当／新入社員

多くの知識・経験が求められる建設業界では、入社当初の5~10年は育成期間。できるだけ多様な経験を積めるよう、多くの会社がジョブローテーションを設定しています。数年ごとに異なる現場に配属され、上司や先輩の指導のもと建設業の基礎を身につけます。



就職にあたって誰もが思い描くのが、その会社に入社して働く自分の将来像。5年後、10年後、さらには20年後、どんな職場で、どんな役割を果たしているのか？なかなか想像が難しい将来の姿をイメージできるよう、なかなか想モデルケースを紹介します。

30代

現場の司令塔へと脱皮

現場主任／係長

入社から10年近くを経る頃には、複数の現場で経験を積み重ねるとともに、必要な資格も取得し、上司や先輩に動かされる立場から、多くの人を動かす立場へと脱皮。知識やノウハウに加えて、周囲とのコミュニケーション力や信頼性も問われます。



工事長／課長

施工現場という“最前線”で経験を積み重ねた後は、個々の現場だけでなく、多くのプロジェクトを統括するマネジメント職へとシフトしていきます。人を育て、組織を育てることも重要な役割であり、より広い視野と深い知識、何より豊かな人間性が求められます。

組織のマネジメントを担う

40代

50
代～

50代～

広い視野で会社を動かす

所長／部長

組織の中核を占めるポジションに就き、会社や業界、それらを取り巻く社会を俯瞰的に見つめながら、さらなる成長や課題解決に向けた方針・戦略づくりに取り組みます。これまでとは段違いの重責を負いますが、得られる充実感・達成感も大きなものがあります。

職種別モデルケース



技術職（土木・建築）の場合

入社1年目

新入社員研修で社会人として必要な知識を習得後、現場に配属され、現場で先輩社員に施工管理・工程管理・品質管理を学ぶ。

入社5年目

一人で現場を管理できるようになり、現場の段取りから書類作成まで、小規模な工事から担当。成長速度に応じて、担当現場の規模が大きくなる。1級土木（建築）施工管理技士の資格取得をめざす。

入社7年目

規模の大きな工事や多様な工種を担当し、経験を積む。技術士、1級建築士など更に高度な資格取得をめざす。

事務職の場合



わたしたちの
キャリアをお話します！

入社1年目

新入社員研修で社会人および建設会社の事務職として必要な知識を習得後、現場や事務センターに配属され、コミュニケーションの基本的な力を身につけ、業務遂行能力を高める。

入社5年目

仕事を進めるうえで他者と円滑なコミュニケーションを行い、効果的に仕事を進めるために必要な考え方やスキルを習得する。さらには、周囲を巻き込んで課題を解決する能力を習得する。2級建設業経理士の取得をめざす。

入社7年目

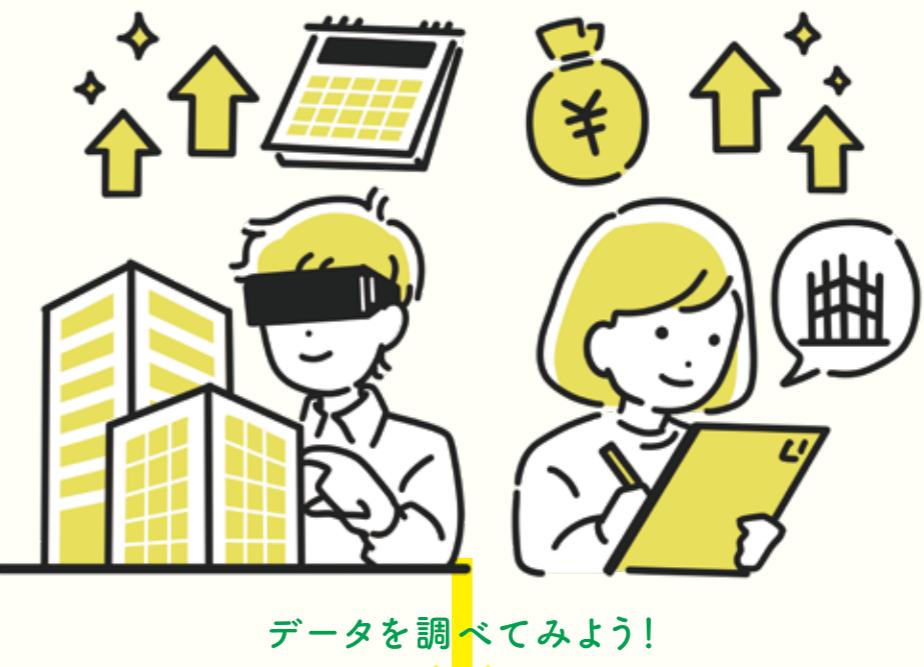
大規模現場の事務をこなすことができる一人前の事務職となる。事務職であっても指示された仕事をただ処理するのではなく、能動的に働く姿勢が求められる。また将来的に本社などの専門部署に配属されることを前提としてより高度な知識を身につける。1級建設業経理士、宅地建物取引主任者の取得をめざす。

建設業が働きやすくなるってほんと?

「仕事がキツイ」「休みにくい」といったイメージをお持ちの方に、建設業界の最新動向をご紹介します。

なつているつて
ほんと?

「長時間労働」と「人材不足」の解消へ



データを調べてみよう!

グラフ1:
建設業の月間実労働時間と月間出勤日数
※厚生労働省のデータから作成(事業所規模5人以上)



グラフ2:
建設業の月間給与額
※厚生労働省のデータから作成(事業所規模5人以上)



「女性が働きやすい」環境づくりへ



女性社員に聞いてみよう!

鈴木 絵理さん

当初は住宅メーカーを志望していたが、あるゼネコンの構造見学会への参加を機に、多様な建物に携わることや、雰囲気の良さに惹かれて同社に入社。現在は職場の先輩と結婚し、三児の母として仕事と育児を両立中。



初めての子どもを授かったのは入社3年目のこと。当時は施工管理を担当しており、上司に妊娠を告げ、産休・育休を取つてまた復帰したいと相談した時は緊張しました。しかし、「おめでとう!」と祝福してもらえて、「温かい会社でよかったです」と改めて感じました。

育休中は初めての育児や保育園探しで大変でしたが、復帰した際は、また社会とつながれることが嬉しかったです。育児との両立に苦労は尽きないものの、夫や職場の皆さんのサポートもあり、仕事を続けることができました。

その後、2人目3人目を授か

り、子育てとの両立を考慮して、

受付業務や広告関係の部署に異

動しましたが、現場監督として

建設業の最前線にいた経験がと

ても役に立っています。一方で、

子どもの発熱などに備え、常に

時間の使い方や仕事の優先順位

を意識して働くようになり、か

えって生産性が高まつたと思い

ます。また、コロナ禍でリモートワーク環境の整備が進み、子ども看病しながら仕事をすることも可能になりました。仕事と育児を両立する上で「周囲に頼ること」「できるだけ具体的にどうしてほしいかを伝えること」が大切だと思います。職場でも家庭でも、周囲の人たちは「何かあれば助けてあげたい」と思ってくれているもの。「助けて!」と声を上げることの重要性に、最近になって気づきました。



建設業界に対し、「残業が多い」「休日がない」といったイメージは根強いものがあるようです。かつてそうした状況があったことは否定できませんが、グラフ1に見られるように、近年では建設業界でも「働き方改革」が進んでおり、実労働時間や出勤日数が減少傾向にあります。

加えて、労働基準法の改正に

より、これまで建設業界では猶

予されてきた、時間外労働の上

限規制(月45時間、年360時間)

が2024年4月から適用

されており、建設業における時

短化がさらに加速するものと見

込まれます。

これに先立ち、日本建設業連

合会では2022年3月に「時

間外労働削減ガイドライン」の

策定と合わせて自主規制目標を

改定し、上限規制に前倒しで対

応できるよう取り組んでいます。

また、テレワークなどICT化

による効率化も進んでおり、働きやすい環境づくりは着々と実現しています。

一方で、少子高齢化による就労人口の減少を背景に、建設業の担い手不足は今も続いているます。今後も駅周辺での再開発プロジェクトや、災害に強いまちづくりなど、建設二業は堅調に推移すると見られていることから、優秀な人材を確保し、定着してもらおうと、グラフ2に見られるように、建設業界の平均賃金は上昇傾向にあり、

2023年度の全産業分野の平均値(329,778円)と比較しても、待遇に恵まれていることは明らかです。今後も政府の賃上げ要請を追い風に、さらなる処遇改善が見込まれます。就職先として建設業界に興味をお持ちの方は、こうしたデータも参考にしてみましょう。